

令和6年1月15日(月) 場所 委員会室

○出席委員

委員長	遠藤 直弘	委員	藤江 竜三
副委員長	望月 健一	
委員	稗田美菜子	議長	高柳貴美代
”	香西 貴弘	副議長	青木 淳子
”	住友 珠美		

○出席説明員

市長	永見 理夫	政策経営部長	宮崎 宏一
副市長	竹内 光博	行政管理部長	藤崎 秀明

○議会事務局職員

議会事務局長	内藤 哲也
議会事務局次長	古沢 一憲

○協議事項

◎議長及び市長挨拶

議題1. 第1回臨時会の議事運営について

(1) 会期、議事日程(案)等について

○【遠藤直弘委員長】 皆さん、こんにちは。定足数に達しておりますので、ただいまから議会運営委員会を開きます。



◎議長及び市長挨拶

○【遠藤直弘委員長】 初めに、議長より御挨拶をお願いします。

○【高柳貴美代議長】 皆様、おはようございます。本日は臨時会に向けた議会運営委員会に御参集を賜りまして、誠にありがとうございます。本日もどうぞよろしく願いいたします。

○【遠藤直弘委員長】 ありがとうございます。それでは、続きまして、市長から御挨拶をお願いします。

○【永見市長】 おはようございます。本日は令和6年第1回臨時会に向けて議会運営委員会を開催していただき、誠にありがとうございます。今回の議案でございますが、予算案として、令和5年度国立市一般会計補正予算（第8号）案を提出させていただいております。これは、昨年12月19日の令和5年第4回定例会最終本会議に向けての議会運営委員会におきまして、国の低所得世帯への給付金等について、今後、詳細が分かり次第、補正予算を編成する可能性がある案件としてお示ししていた内容でございます。この補正予算案には、令和6年3月までに給付を開始する住民税均等割のみ課税世帯への1世帯当たり10万円の給付と低所得者の子育て世帯への児童1人当たり5万円の加算給付について、また、個人住民税の1人当たり1万円の定額減税に係るシステム改修について、それぞれ必要な経費を計上させていただいております。つきましては速やかに給付金の支給等に取り組めるよう、この補正予算案について、臨時会での御審議をお願いするものでございます。臨時会に向けての御協議をよろしく願いいたします。私からは以上でございます。

○【遠藤直弘委員長】 ありがとうございます。お手元に御配付の協議事項に沿って議事を進行してまいります。



議題1. 第1回臨時会の議事運営について

(1) 会期、議事日程（案）等について

○【遠藤直弘委員長】 議題1、第1回臨時会の議事運営について、事務局より説明をお願いします。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 それでは初めに、会期、日程（案）について御説明を申し上げます。市長提出議案につきましては、補正予算案が1件でございます。

臨時会につきましては、1月9日に開催されました会派代表者会議におきまして、1月18日木曜日とすることが確認され、11日に招集告示がされているところでございます。会期につきましては、1日とすることをここで御確認いただきたいと思います。

続きまして、お手元に御配付いたしました議事日程について御説明申し上げます。臨時会の議事日程は、おおむね前例に倣い登載し、会議録署名議員の指名、会期の決定、市長挨拶、議案の上程を予定しております。

次に、議案の取扱いについて御説明申し上げます。日程第4、第1号議案令和5年度国立市一般会計補正予算（第8号）案につきましては即決とし、提案説明を受けた後、質疑、討論、採決の扱いをお願いを致します。

なお、電子メールで情報提供させていただいておりますが、第1回臨時会の運営につきまして、会派代表者会議において、質疑の通告はなし、出席説明員は市長に一任、議場の扉は開放、着座で発言すること、以上の4点が確認されているところでございます。加えまして、重複した質疑は避け、端的な質疑、議会運営に御協力を頂くことについても確認されているところでございます。説明は以上でございます。御協議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○【遠藤直弘委員長】 ただいまの説明に対して質疑、意見等を承ります。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ質疑、意見等を打ち切り、お諮りいたします。会期は1月18日の1日とし、議事日程等については、局長の説明のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認め、局長の説明のとおり決しました。

以上で本日の協議事項は全て終了いたしました。



○【遠藤直弘委員長】 これをもって議会運営委員会を散会と致します。お疲れさまでした。

午前9時33分散会

国立市議会委員会設置条例第29条の規定により、ここに署名いたします。

令和6年1月15日

議 会 運 営 委 員 長

遠 藤 直 弘